

平成29年度(2017年度)

管理事業名	武道館事業				総合計画の体系	第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 37	武道館費		
部局名	都市魅力部	予算執行所属		文化スポーツ推進室					
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
武道館管理事業									
事業の目的と概要	指定管理者制度において、武道館の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
武道館利用者数、目標利用者数 108,862人	人	98,892	99,286	100,091	個人使用、専用使用、共催スポーツ教室、大会の利用者数
武道館使用料収入額	千円	12,847	11,682	11,619	使用料収入決算額
成果の説明	平成28年(2016年度)に施設使用料を改定し、専用使用料、個人使用料ともに引き下げとなったことにより利用者数は増加傾向にあります。平成29年度(2017年度)の利用者数は、平成28年度(2016年度)比805人(0.8%)、平成27年度(2015年度)比1,119人(1.2%)増加しました。また使用料収入は、平成28年度比63千円(0.55%)、平成27年度比1,228千円(9.6%)減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	12,847	11,682	11,619	△64
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,033	1,999	1,882	△116
経常収入 小計(a)	14,880	13,681	13,501	△180
給与関係費	2,712	2,422	2,120	△302
物件費	92,232	92,325	92,976	651
維持補修費	7,709	3,532	72,005	68,474
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	17	2	△15
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	56,717	58,283	58,283	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	182	154	188	33
退職手当引当金繰入額	686	103	△97	△200
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	160,239	156,836	225,477	68,641
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△145,359	△143,155	△211,977	△68,821
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△145,359	△143,155	△211,977	△68,821
一般財源充当額	113,827	85,011	153,954	68,943
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△31,531	△58,144	△58,023	121

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	指定管理委託料 92,000千円 建築物・建築設備定期点検委託料等 967千円
維持補修費	外壁改修工事 69,995千円 機械式駐車場制御盤修繕 1,530千円
減価償却費	武道館 建物分

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	14,880	13,681	13,501	△180
行政サービス活動支出	103,078	98,692	167,454	68,763
行政サービス活動収支差額	△88,198	△85,011	△153,954	△68,943
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	25,629	-	-	-
投資活動収支差額	△25,629	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△113,827	△85,011	△153,954	△68,943
一般財源充当額	113,827	85,011	153,954	68,943
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	98,892 人	1,620 円	武道館の利用者1人あたり 2,253円のコストがかかっています。維持補修費増加により1人あたりのコストが増加しました。
	平成28年度	99,286 人	1,580 円	
	平成29年度	100,091 人	2,253 円	
開館1日あたりのコスト	平成27年度	359 日	446,348 円	武道館1日あたり 628,070円のコストがかかっています。維持補修費増加により単位あたりのコストが増加しました。
	平成28年度	359 日	436,869 円	
	平成29年度	359 日	628,070 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	154	188	33
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	154	188	33
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	3,802,598	3,744,315	△58,283	固定負債	2,271	1,978	△293
有形固定資産	2,485,361	2,485,361	-	地方債	-	-	-
土地	1,317,237	1,258,954	△58,283	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	2,271	1,978	△293
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	2,426	2,166	△260
固定資産	6,000	6,000	-	純資産	3,806,172	3,748,149	△58,023
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	6,000	6,000	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	3,808,598	3,750,315	△58,283
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,808,598	3,750,315	△58,283
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

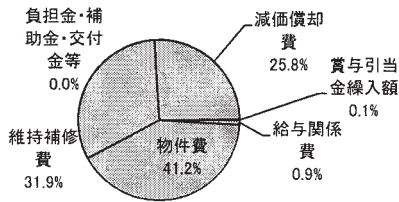
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	0.29	人				2,211
給与関係費等	2,211	千円				
内、時間外勤務手当	38	千円				

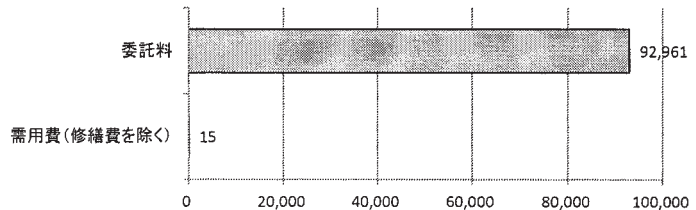
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	武道館
建物・工作物	減価償却による減
重要物品	書4点

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立武道館(洗心館)
取得年月日	平成5年(1993年)4月25日(供用開始)
建物・工作物の取得価額	2,687,979 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,429,025 千円
利用料金収入	11,619 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		0.3	0.1	2.7	2.6
施設老朽化比率		48.8	51.0	53.2	2.2
受益者負担比率		8.0	7.4	5.2	△2.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		88.4	86.1	91.9	5.8
経常費用対公共資産比率		6.0	5.8	8.4	2.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が53.2%と2.2ポイント進行しました。  
コスト全体の41.2%を物件費が占め、そのうちの99.0%を指定管理委託料が占めています。また、外壁改修工事により維持補修費が増加しました。減価償却費がコスト全体の25.8%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

武道館は、平成23年度(2011年度)より指定管理者制度を導入しています。  
平成28年度(2016年度)から5年間、効率的かつ効果的な管理を図るため、吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービスグループを新しい指定管理者として管理運営を行っており、指定管理者により券売機を設置することで、受付方法の簡素化を行い、市民の利便性の向上を図り大変喜ばれました。  
平成29年度(2017年度)に、武道館本館外壁工事(69,995千円)、立体駐車場B・Dブロック制御盤修繕(1,531千円)、瓦ほか補修工事(480千円)を行いました。  
今後も計画的に維持補修を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。